

目 次

第1部 序論—立法学総論—

- 1 立法学の意義 3
 - (1) 実務・実社会から乖離したアカデミズム 3
 - (2) アカデミズムへの期待 8
 - コラム 公共政策系大学院についての一雑感 11
 - (3) 立法学の意義 13
- 2 立法学の体系 14
 - (1) 先行業績の整理 14
 - (2) 体系試論 22
- 3 立法学の課題 24
 - (1) 公平と効率…立法政策論の課題 25
 - (2) 政治主導…立法過程論の課題 26
 - (3) 時代に対応した市民に身近な法…立法技術論の課題 27

第2部 立法過程論—立法を巡る制度と動態—

第1章 我が国における立法過程の鳥瞰図————— 31

- 1 立法のプロセス 31
 - (1) 立法の舞台 31
 - (2) 立法の流れ 33
- 2 我が国における立法過程の特徴と課題 38
 - (1) 官僚主導の立法過程 38
 - (2) インフォーマルで不透明な与党審査（政府・与党二元体制） 39
 - (3) 議事運営を巡るインフォーマルで不透明な国対政治 40
 - (4) 形骸化した国会審議 40
 - (5) 低調な議員提出法案 41
- 3 立法を巡る統治機構論 41
- 4 「第2部 立法過程論—立法を巡る制度と動態—」の狙いと流れ 43
 - (1) 第2部の狙い 43
 - (2) 第2部の流れ 43

第2章 省庁内過程 45

- 1 立法の契機 45
 - (1) 設定型問題 45
 - (2) 発生型問題 46
- 2 立法に当たっての考慮要素 51
- 3 政策資源 55
- 4 省庁における意思決定プロセス 58
 - (1) 意思決定方式の類型 58
 - (2) 官房の機能 62
 - (3) 省庁における意思決定方式の評価 65
 コラム 意思決定方式とリーダーシップ 67
- 5 審議会の機能 68
 - (1) 従来機能 68
 - (2) 審議会の問題点 71
 - (3) 中央省庁等改革による審議会の整理・合理化 72

第3章 政府内過程 75

- 1 主流としての内閣提出法案 75
 - (1) 内閣提出法案と議員提出法案 75
 - (2) 内閣の法案提出権の根拠 80
- 2 具体的な流れ 85
- 3 各省協議 86
 - (1) 各省協議の必要性と機能 86
 - (2) 争点の類型 87
 - (3) 各省協議の流れと帰結 88
 - (4) 各省協議の問題点 89
 - (5) 省庁間の政策調整 91
- 4 内閣法制局審査 92
 - (1) 内閣法制局の業務・組織 92
 - (2) 審査の内容 94
 - (3) 内閣法制局審査を巡る評価 95
- 5 閣議 98
 - (1) 内閣の連帯責任 98
 - (2) 事務次官等会議 99
 - (3) 閣議 101

第4章 与党内過程 103

- 1 与党審査の仕組 103
 - (1) 与党審査の根拠 104
 - (2) 日本特有の与党審査 107
- 2 与党審査の舞台 108
 - (1) 連立政権における政策決定機関 108
 - (2) 自民党与党審査の運営 111
 - (3) 自民党政務調査会部会 113
 - (4) 自民党政調審議会・総務会・国会対策委員会 116
- 3 族議員 118
 - (1) 族議員登場の背景 118
 - (2) 族議員の実態 120
 - (3) 利益団体と後援会 121
 - (4) 族議員と官僚 127
 - (5) 政府・与党二元体制の出現 129
- 4 与党審査の功罪 129
- 5 与党審査廃止論 133
- 6 民主党における与党審査 135
- コラム 「分配の政治」 137

第5章 政官関係 140

- 1 政官関係論 140
 - (1) 政官関係論の系譜 140
 - (2) 政官関係論に関する筆者の見解 145
- 2 官僚主導の限界 147
- 3 政官関係の規範 148
- 4 欧米における政官関係 149
- 5 政官関係のあるべき姿 153
 - (1) 官僚主導から政治主導へ 153
 - (2) 与党・政治家主導から内閣主導へ 155
- コラム 自民党の派閥 158

第6章 官僚制 161

- 1 官僚の機能とその変容 161
 - (1) 官僚像の類型 162
 - (2) 官僚に対する評価 165

2	官僚の業務と人事管理システム	167
	(1) 官僚の業務	167
	(2) 人事管理システム	167
3	官僚の閉塞感	176
4	官僚制の揺らぎ	179
	(1) 環境の変化	179
	(2) 企画立案と利害調整	180
	(3) 新たな官僚像への戸惑い	183
5	公務員制度改革	187
	(1) 公務員制度改革大綱	187
	(2) 公務員制度改革への着手	189
	(3) 公務員制度改革に関する筆者の見解	192
コラム	官僚の一日	200

第7章 マスコミ 204

1	マスコミの影響力	204
	コラム 地方紙と専門紙	205
2	マスコミの行動原理	208
	(1) 記者クラブ	209
	(2) 番記者	212
3	マスコミの基盤	216
4	マスコミの課題	219
	コラム マスコミについての一雑感	222

第8章 国会内過程 226

1	国会制度	226
	(1) 「国権の最高機関」と「唯一の立法機関」	226
	(2) 国会、議院の権能	227
	(3) 二院制と衆議院の優越	227
	(4) 会期制と会期不継続の原則	228
	(5) 本会議中心主義と委員会中心主義	230
2	審議の流れ	232
	(1) 冒頭演説及び代表質問	232
	(2) 予算委員会	233
	(3) 法案審査	235
	(4) 政府委員制度	242
3	国対政治	244

(1) 議院運営委員会	244
(2) 国会対策委員会	246
(3) 国対政治を巡る評価	247
4 野党の機能	249
(1) ラバースタンプ説とヴィスコシティ説	249
(2) 野党の抵抗資源としての可処分時間	250
(3) 与野党の攻防	253
(4) 与党の譲歩	254
(5) 野党の抵抗の限界	255
(6) 与野党対立プロセスの制度化	255
5 審議パターン	258
コラム 日本政治における対立軸	260
6 官僚の国会対策	266
(1) 国会質疑の意味	266
(2) 想定問答の作成	266
コラム 国会連絡室の一日	268
コラム 国会質疑の舞台裏	269
(3) 根回しの重要性	270

第9章 議員提出法案 278

1 低調な議員提出法案	278
(1) 低調さの背景	278
(2) 議員提出法案の歴史的推移	279
2 内容・性格の類型	280
3 審議の実態	284
4 立法補佐機関	287
5 議員提出法案の位置付け	290
(1) 立法補佐機関を巡る評価	290
(2) 議員提出法案の役割	292

第10章 国会の機能 294

1 立法過程を巡る課題	294
コラム 行政立法	297
2 国会機能論	300
3 変換議会とアリーナ議会	303
(1) 議会機能の類型	303
(2) 我が国における国会の位置付け	305

第11章 政治主導 308

- 1 イギリスにおける議院内閣制 308
 コラム アメリカにおける大統領制 316
- 2 内閣機能強化への取組 320
 - (1) 近年の改革 321
 - (2) 小泉政権の登場 324
 - (3) 「強い首相」を生み出す要因 331
 - (4) 残された課題 334
 コラム 2009年政権交代 341
- 3 国民内閣制論 348
 - (1) 国民内閣制論の内容 349
 - (2) 国民内閣制論への批判 353
 - (3) 国民内閣制論に関する筆者の見解 358
- 4 首相公選制論 362
 - (1) 首相公選制論の内容 362
 - (2) 首相公選制論に関する筆者の見解 366
 コラム マニフェスト 368
- 5 リーダーシップ所在の分散性 371
- 6 「分配の政治」、先送りの政治から政策本位の政治、決断の政治へ 376
 コラム 日本人の精神性 378
 コラム 日本の政治学についての一雑感 390

主要参考文献 397

索引 409

(脚注に記したインターネット情報への最終アクセス日は、特に示さない限り、2019年12月31日である。)